

睡眠時無呼吸症候群の治療法のご紹介

睡眠時無呼吸症候群は、起こる原因から下の2つのタイプに分けられます。
当院の睡眠時無呼吸外来では、無呼吸の症状が起こるタイプに合わせて治療を行っております。

閉そく性睡眠時無呼吸タイプ

上気道のスペースが狭まり、空気が通れなくなるために呼吸ができなくなるタイプ

治療法の紹介

◆持続陽圧呼吸補助装置(CPAP)

- 鼻マスクを着けて空気を送り込み、上気道の閉そくを防ぐ方法で、成人の閉そく性無呼吸の治療に最も効果的です。

◆歯科装具(マウスピース・スプリント)

- 下あごを前方に突き出させるように工夫したマウスピースを着けて寝ると気道を広げるように作用してくれるので、いびきや無呼吸の解消をサポートします。

◆外科的手術(UPPP)

- 肥大した扁桃腺やアデノイドの削除手術を行います。

◆減量・ポジションセラピーなど

- 症状が起こらないように、普段の生活で行えるポイントをご一緒に取り組んでいきます。

中枢性睡眠時無呼吸タイプ

脳から呼吸をする指令が出なくなるために起こるタイプで、心不全を合併して発症しやすい

治療法の紹介

◆薬物療法

- 心不全への薬物療法

◆非薬物療法

- 心臓再同期療法(CRT)…ペースメーカー等で心臓のポンプ機能を正常に近づくように治療を行います。
- 酸素療法(HOT)…外部から酸素を補う治療法を行います。
- 陽圧治療法(PAP)…患者様に合った呼吸に対しての陽圧治療法を通して、患者様の呼吸補助を行います。